

## MVN Studio 4.3 リリースノート

<https://www.xsens.com/download/MVN/mvnstudio412/MVN-Studio-4.1.2-Release-Notes.pdf>

新バージョン	■MVN Studio 4.3(Link/Awinda共通) ■Awindaシステム：AW-A FW 4.0.1, AW-DNG FW 4.0.1, MTw2 FW 4.0.2, MVN Remote app 1.1.1 ■Linkシステム：BP FW 1.0.7, MTx FW 1.0.1
旧バージョン	MVN Studio 4.2.6 (2016/1/20)
リリース日	2016/5/11
アイコンの意味	[+]追加機能、[ ^ ]変更機能、[ ! ]注意点、[ # ]改良点、[ - ]削除機能

### 1. イントロダクション

このリリースノートにはMVN Studioの最新バージョンである、バージョン4.3の詳細が含まれています。このソフトウェアリリースによって、MVN Link用のWi-Fiの機能を最大限に有効化し、より一層柔軟で堅牢な構成となります。またiOSとAndroid向けの新しいMVN Remote appの起動をサポートします。

※注記：新しい機能と改良点を有効にするために、MVN Link及びAwindaのファームウェアのアップデートが必要となります。

### 2. 主な改良点と新機能

#### 2.1 MVN Studio(共通)

- + “Soft Access Point”機能により、Body Packを直接ラップトップやタブレットに接続することで、MVN Linkシステムの可搬性を向上させます。MVN Studio内ではPCの無線を“仮装ルーター”として参照し、“Soft Access Point”と呼ばれています。
- + MVN Remote”ユーザーのスマートフォンやタブレットからMVNの制御を可能とします。このアプリはiOSとAndroidの両方で使用可能です。
- + コマンドラインインターフェイスに“Run”, “Reprocess”, “Export”, “Copy”, “Trim”を追加
- + 計測時間の長いトライアルにおいても、加速によるクリッピングを制御しモーションキャプチャのパフォーマンスを向上
- + スクワット、ROM(Range of Motion)、上半身の動作中における、足部のズレを大幅に軽減
- + UnityとMotion Builderへの同時ストリーミングが可能
- + 自動的にMVN Studioの最新バージョンの更新を確認
- + Windows 10に対応

#### 2.2 Firmware(Linkのみ)

- + Body PackへのSoft Access Pointの設定を追加
- + ウェブインターフェイスによるマニュアルでBody Packを任意のWLANに接続、周波数帯域とチャンネルの変更、WPSの開始と静的IPアドレスを設定可能なよう、Wi-Fi設定のメニューを追加
- + 同じSSIDを持つ複数のアクセスポイントへのローミング機能をBpdy Packに追加

#### 2.3 Firmware Updater(共通)

- + ファームウェアアップデーターは、常に利用可能な最新のファームウェアをXsensファームウェアサーバーから取得
- + Windows 10用にスタートメニューを更新
- + GUIの改善

### 3. バグフィックス

#### 3.1 MVN Studio(共通)

- # MVN Linkシステムが5分以上通信範囲外にいる場合、通信圏内に戻ってもシステムが復旧しないバグを修正
- # Awinda Stationとの接続が切れるようないくつかのケースにおいて、MVN Studioが強制終了してしまうバグを修正
- # ムービー形式で出力されたファイルをWindowsメディアプレイヤーまたはPower Pointで再生できないバグを修正
- # 靴底の高さのパラメータの地面との接点として最適化
- # “Single Level”のシナリオを使用して後処理を行った時、床下にアバターが表示されるバグを修正
- # 保存されたキャリブレーションデータを読み込んだ時やスーツを再認識させた場合に、アバターが小さく表示されるバグを修正
- # Nポーズ後に表示されるバグを修正
- # 設定セッションのダイアログでスクロールダウンした時に、コンボボックス内の値が変更されないバグを修正
- # フロアレベルを“Multi Level”シナリオで動作するように設定
- # 底屈の関節角度のラベルを正しく修正

# MVN Studioでのライセンスアップデートを簡素化

### 3.2 Firmware(共通)

- # Body PackのLEDの点滅速度を改善
- # カスタムネットワーク設定をBody Packに保存可能
- # 4つのMVN Awindaシステム(フルボディ)をライブで接続した場合、大幅に遅延するバグを修正
- # MVN Studioが起動していないときは、Awinda StationのSTAT LEDはオレンジに点灯

## 4. マイナーアップデート

### 4.1 MVN Studio(共通)

- + (低)速度での動作から静止状態に移行する際の高さ情報に基づくコンタクト情報の変更を許可
- + Windows 10用にスタートメニューを更新
- + コンソールウィンドウ内にコマンドラインのヘルプを表示
- + キャリブレーション結果が"Good"の時には、自動的に結果を適用
- + ビューポートでの3D軸の表示を可能
- + ファイル名入力フィールドのスケール変更を不可
- + 靴底の高さを正しく表示
- + 設定セッションのダイアログで前回と設定に変更がない場合、"Close"ボタンをクリックしても"Use next..."を要求しない
- + タイムバーはファイルの読み込みが80%完了してから、スクロール可能
- + サブスクリプションライセンスの有効期限の警告を追加
- + "Help" → "About"にライセンスキーを表示

## 5. 既知の問題点

- ! Windows 10でMVN Studioを起動し、セカンドディスプレイでファイルを開こうとすると、時々MVN Studioが不正終了する
  - 回避策 1 : メインディスプレイで同じファイルを開く
  - 回避策 2 : QT 5.6を含むMVN Studio 4.3.1をインストールする
- ! MVN Studioから dongle へライセンスをアップデートしようとする時、常に "No update available for the license in use" (使用中のライセンスのアップデートは利用できません) とエラーが表示される
- ! スタートセッションで設定を変更された場合、"Tick" アイコンをダブルクリックしても直ちに変更が適用されない
  - 回避策 : 一度 "OFF" をクリック、その後 "ON" にすることで変更が適用されます
- ! Zigbee の通信トラフィックが集中している場合、割り振られたチャンネルを選択することができません
  - 回避策 : 続行する無線チャンネルを変更してください。チャンネル設定の変更方法はユーザーマニュアル : 18.10.3 をご参照ください
- ! MVN リファレンスカメラをジャンボフレームで使用されている場合、ネットワークストリーミング機能を使用中に問題が発生する可能性があります
- ! ボディパックよりも先にアクセスポイントを WPS モードに設定した場合、WPS 通信が時々失敗することがあります。
- ! MVN Studio BIOMECH と Siemens Tecnomatix とのタイミングの問題 : Siemens サイドでキャラクターデータが落ち、再度表示される場合、一度 "Stop Server" をクリックしその後 "Start Server" をクリックしていただくことで、再度データが表示されます